

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	共同利用型高額研究機器整備費	事業開始年度	平成5年度	作成責任者		
担当部局庁	国立感染症研究所	担当課室	総務部会計課	課長 星野 真		
会計区分	一般会計	上位政策	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	当所の事業やその他研究機関との共同利用を通して実験の効率化と科学技術推進を図る					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	当所の共同利用型高額機器として、細胞自動解析分離装置及び超高分解能走査電子顕微鏡を整備					
実施状況	1) 細胞自動解析分離装置は年約820件で、うちおよそ所内研究者540件、共同研究270件、外部研究者10件の使用実績がある。 2) 電子顕微鏡は年約210件で、うちおよそ所内研究者120件、共同研究30件、外部研究者60件の使用実績がある。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	84	80	80	80	80
	執行額	84	80	80		
	執行率	100.0%	100.0%	100.0%		
	総事業費(執行ベース)	84	80	80		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	支出は5年リースの機器代と機器保守料、機器のオペレータの非常勤職員給与、および関連消耗品費からなっており、機器リース料は契約初年度に一般競争入札により業者の選定を行っている。機器の保守料についても同様に一般競争に付している。				
	見直しの余地	機器のリース料については、リース期間中の見直しの余地は乏しい。機器の切り替え時期には機器の必要性の観点から再リースも含め費用対効果を最大化するよう検討する。				
予算チームの所見率化	一部改善(事業を一部見直し、概算要求に反映) 執行の観点からは概ね妥当であるが、真に必要な研究機器の精査を行い、効率的な執行に努めること。					
補記						

国立感染症研究所
80百万円
共同利用型高額研究機器整備費

【一般競争・随意契約】

A. 日立キャピタル(株)
36.91百万円
共同利用機器の賃借料

【一般競争・随意契約】

B. (株)池田理化
13.23百万円
共同利用機器の保守料

【随意契約】

C. 民間会社2社
0.69百万円
備品修理点検費

うち事務費29百万

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブ
 ロックごとに最大の金額が支
 出されている者について記
 載する。使途と費目の双方で
 実情が分かるように記載)

A.日立キャピタル(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
借料及び損料	共同利用機器の賃借料	37			
計		37	計		0
B.(株)池田理化			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	共同利用機器の保守料	13			
計		13	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

